

平和な社会の構築の可能性と課題 —異文化理解の深化—



現在、世界では様々な対立や争いが起きています。平和な社会を構築するには人々の相互理解が不可欠です。本学はアジア・ヨーロッパ諸国の社会について学べる「ユーラシア共同体の構築」という特別講座をユーラシア財団の助成により開講しています。その一環として、本シンポジウムを開催いたします。ぜひご参加ください（参加費は無料）。

日時

2023年2月11日（土）14:00～17:00

会場

TKP ガーデンシティ仙台（AER 30階 ホールB）
*オンライン（zoom）同時開催

● プログラム ●

基調講演「世界平和と文化相互理解のためのグローバル公共哲学とWAの哲学」



講師 | 星槎大学学長・東京大学名誉教授 山脇 直司 氏

星槎大学学長、東京大学名誉教授、日本共生科学会会長、地球システム倫理学会副会長。専門は公共哲学、社会思想史など。

世界情勢が深刻化しつつある中、講演では、ユネスコ憲章の前文「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人は心の中に平和の砦を築かなければならない。」と「相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信を引き起こした共通の原因であり、この疑惑と不信のために諸人民の不一致があまりにしばしば戦争となった。」という原点に立ち戻り、世界平和と文化の相互理解を推進するためのグローバル公共哲学とWAの哲学について語ってみたい。

研究報告「異文化理解・世界平和に対する大学生の意識調査」の結果分析

宮城の大学生の異文化理解・世界平和に対する意識の現状を示しながら、その要因を探ってみたい。

報告者 | 黄 梅英 氏 尚綱学院大学副学長・教授（教育社会学）
呉 正培 氏 尚綱学院大学准教授（外国語教育）

パネルディスカッション

パネリスト | ロッシェル・カップ 氏 ジャパン・インターカルチュラル・コンサルティング 社長
米澤 彰純 氏 東北大学国際戦略室副室長・教授（教育社会学）
モデレーター | 永澤 雄治 氏 尚綱学院大学教授（国際政治経済論）

参加申し込み

右記コードより申込フォームに進み、お申し込みください。



◆本シンポジウムはSPプログラムの対象です◆

尚綱学院大学生は、本シンポジウムを聴講し、終了後1週間以内に受講レポート提出することによって、SPプログラム2ポイントを取得することができます。開催までに参加申し込みよりお申し込みください。



尚綱SDGs Action

尚綱学院大学は、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくためSDGsを推進しています。

※SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」のことです。17のゴール・169のターゲットから構成されています。

新型コロナウイルス感染症対策について

●会場では、ソーシャルディスタンスを確保して座席を用意する他、消毒を実施します。●参加の際は、手指消毒やマスク着用、咳エチケットなどにご協力をお願いします。●感染状況によっては、オンライン開催になる場合がございます。●発熱や息苦しさなどの症状のある方、2週間以内に海外流行国または国内の感染流行地域（クラスター発生等）へ旅行、出張された方は参加をご遠慮ください。●感染拡大の状況に伴い中止になる場合があります。